

困難を抱える女性への支援事業【仙台市】

個別事業費	7,959 千円
交付金額	5,969 千円

地域の実情と課題

- ・女性は、様々な年代で貧困などの生活上の困難に陥りやすい状況にある。
- ・生理用品など生活するうえで必須な物品の入手が難しい女性の存在も報道などで指摘されている。
- ・敷居の高さを感じるなどの理由で相談窓口につながらることのできない女性も一定数存在すると思われる。

事業の特徴

①出張型相談事業

小物作り体験などを合わせて実施し、参加へのハードルを下げた。

②レスパイト事業

対象者の状況に応じて、滞在期間中に居所支援や生活保護手続き支援等を進めるなど、次のステップに進むための支援を行った。

③相談機関等へのつながり支援事業

受け取った方が適切な相談窓口につながらることができるよう、各種相談機関の情報や出張型相談事業のチラシを同封した。

④学び直しプログラム提供事業

いわゆる5教科以外にも、参加者のキャリア目標に応じ、パソコンスキルやコミュニケーション力に関する学習提供を行った。

事業の効果

①出張型相談事業

相談につながらることができない女性の現状の一部を顕在化できた。支援団体間の今後の連携に向けた関係づくりの場ともなった。

②レスパイト事業

既存の制度ではカバーしきれない支援の必要性が明らかになった。

③相談機関等へのつながり支援事業

支援につながっていない人に生理用品とあわせて支援先情報を届けることができた。

④学び直しプログラム提供事業

それぞれのキャリア目標に応じたプログラムの提供が出来た。

目的・目標

①出張型相談事業

既存の相談機関につながらない女性が気軽に相談できる環境を提供する。

【数値目標】来場者数 延べ100人 / 【達成状況】延べ208人

②レスパイト事業

次のステップに進むために休息が必要な女性に対しその場所を提供し、自己決定できる力の回復を促す。

【数値目標】事業利用者数 15人 / 【達成状況】5人(4件)

③相談機関等へのつながり支援事業

相談機関等へのつながりを作る機会として、生理用品(相談機関等の情報を同封)を配布する。

【数値目標】配布数 10,000個 / 【達成状況】8,268個

④学び直しプログラム提供事業

様々な困難により自立を目指す活動に影響を受けている女性の自己肯定感の回復と自己決定力の涵養を図る。

【数値目標】自己肯定感が向上した人の割合 70%以上

【達成状況】83%

連携団体

「若年女性支援情報交換会」※以下構成団体

- ① 公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- ② 仙台市
- ③ ①の関係団体

今後の課題

①出張型相談事業

広報の工夫、相談者のその後について情報共有できる方策の検討

②レスパイト事業

事業有効活用のため、引き続き各窓口担当部署への情報提供に努める

③相談機関等へのつながり支援事業

支援が必要な方に届くよう、配布場所や配布数の実情に応じた見直し

④学び直しプログラム提供事業

外部の相談支援機関へ、より丁寧な情報提供や協力依頼に努める

事業の概要

①出張型相談事業「女子のためのほっとスペース」

1 開催概要

コロナ禍等により困難な状況にある女性が支援者・支援機関とつながり、情報を得て選択肢を広げ自己決定に向けた歩みを進めることを支援するため、民間支援団体との連携による出張型相談会を実施した。

日 時: ①令和6年9月7日 10:00～14:00

②令和6年12月18日 17:00～21:00

来場者数: 延べ208人

主 催: 仙台市、(公財)せんだい男女共同参画財団

協力団体: 延べ24団体 協賛: 延べ10団体



2 事業効果及び効果検証

相談者の話を聞きながら、絡まり合った困難な状況を紐解き、解決に向けて相談機関につなぐ機会となっており、相談につながる事が出来ていない女性における相談前のステップとして有効であった。

また、心のもやもやを抱えながら相談につながる事ができない女性の現状の一部を顕在化することができた。

加えて、複数の支援団体が合同で取り組むことで顔の見える関係をつくる事ができたことから、その後の支援活動の連携につながるきっかけづくりともなっている。

②レスパイト事業

1 開催概要

困難な状況にある女性が、安全な場所で次のステップに向けた自己決定ができるよう、一時的な宿泊場所を提供した。

滞在期間: 原則として1人1週間以内(次のステップへの準備期間)

対 象: 仙台市内在住、または在勤・在学の18歳以上の女性

実施件数: 4件(5人)

2 事業効果及び効果検証

- ・緊急性はあるものの、DVシェルター等の一時保護の枠組みでは対応が難しい方に安全な場所を提供することができた。
- ・親からの虐待や束縛を受けている若年女性の利用も見られた。
- ・通勤や通学、外出もでき、携帯電話も自由に使えるなど比較的緩やかな運用であることが、利用者や支援者から評価されており、既存の制度からは零れ落ちてしまうケースへの支援の必要性を明らかにすることができた。

事業の概要

③相談機関等へのつながり支援事業

1 開催概要

相談機関等へのつながりを作るきっかけとして、様々な相談機関を掲載したリーフレット及び出張型相談事業のチラシを同封した生理用品を配布した。仙台市の男女共同参画センターであるエル・ソーラ仙台、エル・パーク仙台では女性用トイレに設置し、非対面で配布したほか、各区役所や、仙台市の子育てふれあいプラザ(のびすく)、図書館で配布した。あわせて、女性支援団体等を通じて困難な状況にある女性への配布も行った。
(配布数:8,268個)

2 事業効果及び効果検証

- ・支援につながっていない人に、生理用品と合わせて支援先情報を届けることができた。
- ・生理用品と同封配布した、相談機関を掲載したリーフレットをもって仙台市男女共同参画推進センターの相談窓口を訪れるケースもあり、効果が表れてきている。



相談先紹介リーフレット

④学び直しプログラム提供事業

1 開催概要

何らかの学習支援が自己肯定感の回復、キャリア選択及び就業継続に有効であるとみられる相談者に対して、個々の状況に合わせたキャリアカウンセリングと個別学習支援を並行して実施する学び直しプログラムを提供した。

一人ひとりの希望や目標に合わせた学習科目等を設定し、個別計画を策定。月2回程度の個別指導日を設定し、伴走型で取り組みをサポート。性別役割分担意識や社会の構造的な問題等により就業や日常生活において影響を受けている女性に向け、自己肯定感を回復させ生き方を自分で選択できる力を養い、思い描くキャリア目標を後押しした。

対象者:10代で十分な学びの経験を得られない等、様々な困難により自立を目指す活動に影響を受けている女性

実施人数:11人



キャリアカウンセリングを行う相談室の様子

2 事業効果及び効果検証

- ・高卒認定試験の合格や転職に向けたスキルアップなど、各自のキャリア目標に応じたプログラムの提供が出来た。
- ・概ね、学習意欲の向上が自己肯定感の高揚や就業意欲の向上につながり、キャリアを考えるきっかけとなっている様子がうかがえた。